

今週（2月23日から2月27日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コール市場は、引き続きビッドサイドの資金調達ニーズが旺盛ななか、出合いの中心は0.72%台での推移となった。季節要因として、試し取りを実施する先が複数見られ、付利金利を上回る水準での出合いも一部散見された。加重平均レートは、24日(火)0.727%、25日(水)0.729%、26日(木)0.728%となり、27日(金)も概ね同水準での推移となった。

ターム物については、年度内物で0.8%台半ばから後半での出合いが散見された。一方で、年度末を越えるロングターム物については、ビッドサイドに一定のニーズは見られたものの、オファーが乏しく閑散とした状況となった。

今週の日銀当座預金残高は、459兆円程度でスタートした。その後は、概ね横這い圏での推移となった結果、27日(金)は461兆円程度での着地が見込まれる。

●債券レポ市場

今週のGC O/N物は、週を通して0.750~0.755%程度で推移する展開となった。

SC取引の個別銘柄では、2Y470~481回、5Y170~183回、10Y355~381回、20Y180~195回、30Y65~89回、40Y10~18回などで引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、6Mゾーン、1Yゾーンが堅調に推移した。

27日(金)に実施された3M物入札は落ち着いた結果となり、結果発表後のセカンダリーでは堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP発行市場は、月末週の発行にあたり、幅広い業態で大型発行が実施された。

市場残高は概ね26兆円台半ばから後半で推移した。

発行レートについては、0.75%以上で推移しており、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
2/23 (月)						
2/24 (火)	57,321.09	2.100	154.82	0.727	0.750	4,596,700
2/25 (水)	58,583.12	2.135	155.78	0.729	0.750	4,605,900
2/26 (木)	58,753.39	2.150	156.10	0.728	0.747	4,601,100
2/27 (金)	58,850.27	2.110	155.76	0.727	0.750	4,611,300

来週（3月2日から3月6日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー （※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
3/2 (月)	氷見野日銀副総裁 和歌山県金融経済懇談会における挨拶			2月のISM製造業景況指数
3/3 (火)	1月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 1月の一般職業紹介状況(有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 10-12月期の法人企業統計調査(財務省 8:50) 2月のマネタリーベース(日銀 8:50) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)	10Y物 3/4発行 26,000億円	交付税借入 3/12借入 12,500億円	2月のユーロ圏消費者物価指数速報値
3/4 (水)	3月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50) 2月の消費動向調査(内閣府 14:00)			米ペーシェブック 2月のISM非製造業景況指数
3/5 (木)		30Y物 3/6発行 7,000億円		
3/6 (金)	2月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50)	TDB3M 3/9発行 47,000億円		2月の米雇用統計 米消費者信用残高 1月の米小売売上高 12月の米企業在庫 10-12月期のユーロ圏GDP確報値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
3/2 (月) 日銀予想	100	▲ 39,700	▲ 39,600	成長基盤 国債補充	▲ 7,900 3,600		▲ 4,300	▲ 43,900	TDB3M発行▲47,000償還43,000 2Y発行▲28,000償還18,000
3/3 (火) 弊社予想	400	▲ 10,000	▲ 9,600				0	▲ 9,600	財政融資資金の回収 税・保険料揚げの前倒し
3/4 (水) 弊社予想	400	▲ 76,000	▲ 75,600	全店共通	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 83,600	法人税・消費税揚げ 年金保険料揚げ 10Y発行▲26,000
3/5 (木) 弊社予想	0	▲ 1,500	▲ 1,500				0	▲ 1,500	交付税借入▲12,500期日10,500
3/6 (金) 弊社予想	▲ 300	▲ 7,000	▲ 7,300				0	▲ 7,300	30Y発行▲7,000

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き堅調な資金調達ニーズが見込まれるなか、試し取りの影響もあり、やや上振れることも想定されるが、概ね0.727%前後で推移することが予想される。債券レポ GC T/N物のレートは、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、0.75~0.755%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、6日(金)に3M物入札が予定されている。CP市場は、月初発行にあたり、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では2日(月)に氷見野日銀副総裁 和歌山県金融経済懇談会における挨拶、3日(火)に1月の労働力調査(完全失業率)、1月の一般職業紹介状況(有効求人倍率)、10-12月期の法人企業統計調査、海外では、2日(月)に2月のISM製造業景況指数、3日(火)に2月のユーロ圏消費者物価指数速報値、4日(水)に2月のISM非製造業景況指数、6日(金)に2月の米雇用統計、1月の米小売売上高、10-12月期のユーロ圏GDP確報値などの公表が予定されている。

(※尚、米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。)

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。